

船舶事故等調査報告書

平成23年1月27日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010横第147号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年8月7日（土） 19時00分ごろ	
発生場所	千葉県市川市大和田地先江戸川	
事故等調査の経過	平成22年8月9日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 旅客船 フェニックスクイーン、19トン 243-16420東京、株式会社オーシャンキングジャパン B モーターボート バナディス2 不明	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士 B 船長、免状不詳	
死傷者等	なし	
損傷	A なし B 不明	
事故等の経過	A船は、船長Aほか2人が乗り組み、乗客23人を乗せ、花火見物のため江戸川において、船首の錨を投入した。 船長Aは、風下側となる右舷船尾近くに錨泊中の船長Bから錨地に近い旨の注意を受けたものの、船尾の錨を投入するため、引き続き船首部のアンカーロープを繰り出しながら後進中、平成22年8月7日19時00分ごろ、A船の右舷部とB船の左舷部が衝突した。 B船は、アンカーロープがA船船底下方に潜り込んだため、A船から離脱することができず、両船ともに付近の浅瀬に乗り揚げた。 21時ごろ、消防署により、A船のアンカーロープは切断され、両船ともに自力離州した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南、風速 約9.9m/s（最大瞬間約12.6m/s）、日没時刻 18時40分	
その他の事項	A船の長さは、11.97mであり、事故発生場所付近の河幅は約200mであった。 A船は、B船のアンカーロープの近くに錨を入れて後進したため、A船の錨がB船のアンカーロープに絡んだ。 船長Aは、江戸川を航行するのは今回が初めてであった。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり A船は、大和田地先の江戸川において、錨泊中のB船に接近して風上で船首の錨を投入した後、船尾の錨を投入するため後進中、錨泊中のB船と衝突したものと考えられる。

		船長Aは、船尾の錨を入れる際、適切な船尾方の見張りを行っていなかった可能性があると考えられる。
原因	本事故は、夜間、A船が、大和田地先の江戸川において、錨泊中のB船に接近して風上で船首の錨を投入した後、後進して船尾の錨を入れる際、船長Aが適切な船尾方の見張りを行っていなかったため、B船と衝突したことにより発生した可能性があると考えられる。	